

身延山大学仏教学部の令和元（二〇一九）年一〇月一日から令和二（二〇二〇）年九月三〇日までの活動の一端を紹介します。

○教員消息（令和二年度）

▽昇格

教授 木村中一（准教授から教授へ）  
教授 金 炳坤（准教授から教授へ）

○教員活動（計二一名）

▽望月海慧 教授（副学長）

《受賞》

坂本日深学術賞（立正大学法華経文化研究所（安田治樹所長）より二〇一九年二月八日受賞。望月海慧「チベット語訳『妙法蓮華註』和訳」に対して）

《著書》

（共著） *Atiśa's 17 Dīpaṅkara-jīṭāna and Cultural Renaissance*, New Delhi: Indra Gandhi National Centre for the Arts, 2018.

（編著） *Acta Tibetica et Buddhica 12*. Minobu: Minobusan University, 2019, Nov.

（共著） 仏教タイムス社編集部編『近現代日本仏教の歩み―明治から平成まで150年を追跡―』仏教タイムス社、二〇二〇年四月

（共編著） *Bibliography of the Studies on the Saddharmapuṇḍarikāsūtra (1844-2020) (Lotus Sutra Studies J)*. Minobu: International Institute for Nichiren Buddhism of Minobusan University, 2020, Apr.

（共編著）『妙法蓮華経優波提舎の文献学的研究（法華経研究叢書Ⅱ）』身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年四月

《学術論文》

- (单著) “Some Problems in Studying Aṅśa.” Shashbala ed., *Aṅśa śrī Dīpankara-jñāna and Cultural Renaissance*, New Delhi: Indira Gandhi National Centre for the Arts, 2018.
- (单著) “Śrī Dīpankara-jñāna at Vikramaśīla Monastery.” Shashbala ed., *Aṅśa śrī Dīpankara-jñāna and Cultural Renaissance*, New Delhi: Indira Gandhi National Centre for the Arts, 2018.
- (单著) [Dīpankaraśrījñāna ㊦13㊦㊦ン㊦ト㊦の流儀②] (*Acta Tibetica et Buddhica* 12) 身延山大学ネット学研究室(二〇一九年一月)
- (单著) “The Thirteen Manners of Mantra Attributed to Dīpankaraśrījñāna.” *Journal of Indian and Buddhist Studies* Vol. 68, No. 3, Japanese Association of Indian and Buddhist Studies, 2020, Mar.
- (单著) 「輪廻転生はどのように説かれるべきか」(『教化学研究』第一号、日蓮宗現代宗教研究所、二〇二〇年三月)
- (单著) “A Brief History of the Lotus sutra Studies.” Kaie Mochizuki and Byungkon Kim eds., *Bibliography of the Studies on the Saddharmapuṇḍarīkasūtra (1844-2020)* (*Lotus Sutra Studies* J), Minobu: International Institute for Nichiren Buddhism of Minobusan University, 2020, Apr.
- (共著) “Bibliography of the Lotus Sutra (1844-2020).” Kaie Mochizuki and Byungkon Kim eds., *Bibliography of the Studies on the Saddharmapuṇḍarīkasūtra (1844-2020)* (*Lotus Sutra Studies* J), Minobu: International Institute for Nichiren Buddhism of Minobusan University, 2020, Apr.
- (单著) 「世親の『法華論』について」(望月海慧・金炳坤編『妙法蓮華経優波提舍の文献学的研究(法華経研究叢書Ⅱ)』身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年四月)
- 《その他》
- (单著) 「インド仏教から『法華経』を見る―法華経が意図するもの―」(『求道』第七一五号、求道同願会、二〇一九年十一月)
- (单著) 「インド仏教から『法華経』を見る―法華経をどのように伝えていくか―」(『求道』第七一六号、求道同願会、二〇二〇年一月)
- (单著) 「インド仏教から『法華経』を見る―インドにおける法華経の注釈書―」(『求道』第七一七号、求道同願会、二〇二〇年三月)
- (单著) 「近代の仏教学・宗教学研究書3冊」(仏教タイムス社編集部編『近現代日本仏教の歩み―明治から平成まで150年を追跡―』仏教タイムス社、二〇二〇年四月)

〔単著〕「インド仏教から『法華経』を見る―インドにおける三一権実論争―」（『求道』第七一八号、求道同願会、二〇二〇年五月）  
〔単著〕「インド仏教から『法華経』を見る―内陸アジアにおける法華経―」（『求道』第七一九号、求道同願会、二〇二〇年七月）  
《学会発表》

〔単独〕「特別発表 輪廻転生はどのように説かれるべきか」（第二〇回日蓮宗化学研究発表大会、日蓮宗宗務院、二〇一九年、一〇月）

〔単独〕「Dipankarasūtrāna に帰せられる死と転生の儀軌」（日本印度学仏教学会第七一回学術大会、創価大学、二〇二〇年七月）  
《シンポジウム・講演等》

〔講演〕「インド仏教からみる法華経」（令和元年度身延山学園駿河支部総会、ホテルグランド富士、二〇一九年一〇月）

〔講演〕「他宗教の比較から見る日蓮聖人ご降誕の意義」（第三二回勸学院研修会議、日蓮宗宗務院、二〇二〇年一月）

《調査・出張》

〔海外〕「スリランカ仏教遺跡調査」（アヌラダプラ、ミヒンタレー、ポロンナルワ、ダンブッラ、キャンデー、二〇二〇年二月一八日～二三日）

〔国内〕「ヴィハラ科研データベース作成班第二回研究集会」（人文情報学研究分室、二〇二〇年二月一五日～一六日）

《競争的研究資金》

〔研究分担者〕科学研究費基盤研究A「グプタ朝以降のインド仏教の僧院に関する総合的研究」研究代表者、久間泰賢、三重大学）

▽池上要靖 教授（学部長）

《著書》

〔単著〕「身延山流声明―その淵源と成立まで―」（身延山大学仏教学部・持田貫宣・金炳坤編『仏教芸術が創る世界（身延山大学教養選書Ⅳ）』身延山大学・山喜房佛書林、二〇二〇年三月）

《その他》

〔単著〕「釈尊は何を私たちに自覚させようとしたのか」（『日蓮宗新聞』、日蓮宗新聞社、二〇二〇年五月一日）

《学会発表》

(単著)「延山流声明の成立と発展に関する試論」(第七二回日蓮宗教学研究発表大会、立正大学、二〇一九年一月八日)

《シンポジウム・講演等》

(単独)「身延山古伝梵唄について―歌唱法の特徴―」(日蓮宗全国声明師会研修会、箱根湯本富士屋ホテル、二〇一九年一月二六日)

(単独)「修法の理念」(日蓮宗神奈川県修法師会県下合同研修会、箱根町南風荘、二〇一九年一月二日)

《地域連携活動》

(主催)「オレンジカフェ身延山」(二〇一九年一月九日、一月九日、一月九日、一月九日、二月一四日、二〇二〇年一月一日。以降、コロナウ  
イルス蔓延により中止。朝日新聞社文化事業団の助成は令和元年度で終了)

○日蓮学専攻

▽木村中一 教授

《学術論文》

(単著)「日蓮宗寺院にみられる「聖人」「上人」号に関する研究」(『佛教学』六一号、佛教思想學會、二〇二〇年四月)

(単著)「日蓮教団と為政者」(日本佛教学会編『仏教と日本 I (日本佛教学会叢書)』法蔵館、二〇二〇年七月)

《その他》

(連載)「日蓮聖人傳絵巻」にみる日蓮聖人の御生涯」(『みのぶ』第三七～四八回、二〇〇巻一〇号～一〇一卷九号、身延山久遠寺、

二〇一九年一〇月～二〇二〇年九月)

(単著)「『日蓮学』第三号 編集後記」(『日蓮学』第三号、身延山大学国際日蓮学研究所、二〇一九年一〇月)

《学会発表》

(単独)「日蓮宗寺院と大名家」(第七二回日蓮宗教学研究発表大会、立正大学、二〇一九年一月八日)

《シンポジウム・講演等》

(単独)「連続講義 御遺文講座」(身延山久遠寺共栄部、身延山久遠寺、二〇二〇年六月～、第二木曜日・定例)

▽金 炳坤 教授

《著書》

- (共編著) 『仏教芸術が創る世界 (身延山大学教養選書Ⅳ)』 身延山大学・山喜房佛書林、二〇二〇年三月  
(共編著) *Bibliography of the Studies on the Saddharmapundarikasutra (1844-2020) (Lotus Sutra Studies J)*, Minobu: International Institute for Nichiren Buddhism of Minobusan University, 2020, Apr.

《学術論文》

- (共編著) 『妙法蓮華経優波提舎の文献学的研究 (法華経研究叢書Ⅱ)』 身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年四月  
(单著) 「寂撰『法華経集験記』をめぐる諸問題」(『印度学仏教学研究』第六八卷第一号、日本印度学仏教学会、二〇一九年十二月)  
(单著) 「円弘撰『妙法蓮華経論子注』研究史概観」(『身延論叢』第二五号、身延山大学仏教学会、二〇二〇年三月)  
(共著) “Bibliography of the Lotus Sutra (1844-2020).” Kaie Mochizuki and Byungkon Kim eds. *Bibliography of the Studies on the Saddharmapundarikasutra (1844-2020) (Lotus Sutra Studies J)*, Minobu: International Institute for Nichiren Buddhism of Minobusan University, 2020, Apr.  
(单著) 「世親『法華論』の流传に関する諸問題―見直されるべきテキストを中心として―」(望月海慧・金炳坤編『妙法蓮華経優波提舎の文献学的研究 (法華経研究叢書Ⅱ)』 身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年四月)  
(单著) 「流支訳『法華論』の流布本について―序品を中心として―」(望月海慧・金炳坤編『妙法蓮華経優波提舎の文献学的研究 (法華経研究叢書Ⅱ)』 身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年四月)  
(单著) 「(資料)『法華論』諸本校合 (二)」(望月海慧・金炳坤編『妙法蓮華経優波提舎の文献学的研究 (法華経研究叢書Ⅱ)』 身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年四月)  
(单著) 「(韓国語)元暁の『菩薩成本持犯要記』が日本仏教に及ぼした影響」(東国大学校仏教文化研究院H K研究団編『元暁、文献と思想の新地平 (グローバル韓国仏教叢書9)』 東国大学校出版部、二〇二〇年五月)

《翻訳》

(単独) 金天鶴「円弘は新羅僧侶か―『法華経論子注』の引用文献を中心として―」(『身延山大学仏教学部紀要』第二〇号、身延山大学仏教学部、二〇一九年一〇月)

(単独) 許仁燮「中國の偽疑經に現れた老莊的佛敎理解の考察―緣起的觀點からみた中國における佛敎經典の成立と理解―」(『東アジア仏敎學術論集』第八号、東洋大学国際哲学研究センター、二〇二〇年二月)

(単独) 許仁燮「韓煥忠氏のコメントに対する回答」(『東アジア仏敎學術論集』第八号、東洋大学国際哲学研究センター、二〇二〇年二月)

(単独) 金天鶴「『法華経論子注』写本の流通と思想」(『身延論叢』第二五号、身延山大学仏教学会、二〇二〇年三月)

《その他》

(単著) 「『身延山大学仏教学部紀要』総目次(自創刊号 至十九号)」(『身延山大学仏教学部紀要』第二〇号、身延山大学仏教学部、二〇一九年一〇月)

(付記) 蓑輪顕量「金天鶴『法華経論子注』写本の流通と思想について」のレスポンス」(『身延論叢』第二五号、身延山大学仏教学会、二〇二〇年三月)

(単著) 「『身延論叢』第二十五号 編集後記」(『身延論叢』第二五号、身延山大学仏教学会、二〇二〇年三月)

(単著) 「編集後記」(身延山大学仏教学部・持田貫宣・金炳坤編『仏敎芸術が創る世界(身延山大学敎養選書Ⅳ)』身延山大学・山喜房佛書林、二〇二〇年三月)

(単著) 「序」(望月海慧・金炳坤編『妙法蓮華経優波提舍の文献学的研究(法華経研究叢書Ⅱ)』身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年四月)

(付記) 沼田晃佑「(資料)坂本日深文庫について」(望月海慧・金炳坤編『妙法蓮華経優波提舍の文献学的研究(法華経研究叢書Ⅱ)』身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年四月)

▽庵谷行亨 特任教授

《學術論文》

(单著) 「日蓮聖人教学における教と行 (二)」(『身延山大学仏教学部紀要』第二〇号、身延山大学仏教学部、二〇一九年一〇月)  
(单著) 「日蓮聖人教学における教と行 (三)」(『大崎学報』第一七六号、立正大学仏教学会、二〇二〇年三月)

(单著) 「『観心本尊抄』題号における「観心」の意味」(『法華文化研究』第四六号、立正大学法華経文化研究所、二〇二〇年三月)  
《その他》

(单著) 「『観心本尊抄』の世界 第四三～五四回」(『日蓮宗新聞』第二三七六号～二四〇九号、毎月一日号、日蓮宗新聞社、二〇一九年一〇月～二〇二〇年九月)

(单著) 「法華経に学ぶ 第七～一八回」(『池上』第五五卷一〇号～第五六卷九号、池上本門寺、二〇一九年一〇月～二〇二〇年九月)

(单著) 「若き僧侶に伝えたいこと」(『所報』第五八号、日蓮宗布教研修所、二〇一九年一月)

《学会発表》

(单独) 「『観心本尊抄』の題号について」(第七二回日蓮宗教学研究発表大会、立正大学、二〇一九年一月八日)

《シンポジウム・講演等》

(单独) 「信仰の相続」(日蓮宗長崎市護法大会、長崎市市民会館文化ホール、二〇一九年一〇月四日)

(单独) 「宗義大綱 宗祖」(日蓮宗山静教区教学研究会、伊豆の国市ホテル天坊、二〇一九年一月六日)

(单独) 「宗義大綱 成仏の意義」(日蓮宗勸学院講座、日蓮宗宗務院、二〇二〇年二月十七日)

(单独) 「日蓮聖人の観心法門 (二)」(日蓮宗大阪市布教師会、大阪府社会福祉会館、二〇二〇年九月七日)

(单独) 「法華経に学ぶ」(公開講座、池上本門寺、二〇一九年一〇月～二〇二〇年二月、毎月一回)

(单独) 「法華経の教え・日蓮聖人の教え」(公開研修会、宗長寺、二〇一九年一〇月～二〇二〇年二月、毎月一回)

▽桑名法晃 助教(学部書記)

《著書》

(共編著) 『身延文庫所蔵 日遠『菩薩戒本宗要私』身延山大学附属図書館所蔵 大賢『菩薩戒本宗要』(『身延山資料叢書』第八卷)』

(身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年三月)

《學術論文》

(单著)「草山教学の継承——本妙日臨における元政と慧明——」(『印度学仏教学研究』第六八卷第二号、日本印度学仏教学会、二〇二〇年三月)

(单著)「本妙日臨における元政の影響——受戒の作法とその精神——」(『身延論叢』第二五号、身延山大学仏教学会、二〇二〇年三月)

(单著)「身延文庫所蔵 心性院日遠『菩薩戒本宗要私』の一考察」桑名法晃・金天鶴編『身延文庫所蔵 日遠『菩薩戒本宗要私』

身延山大学附属図書館所蔵 太賢『菩薩戒本宗要』(『身延山資料叢書』第八卷)(身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年三月)

(单著)「清水梁山国訳『法華論』の底本について——版本『法華論』の流布と受容を視点として——」(望月海慧・金炳坤編『妙法

蓮華経優波提舍の文献学的研究(法華経研究叢書Ⅱ)』身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年四月)

《その他》

(单著)「編集後記」(桑名法晃・金天鶴編『身延文庫所蔵 日遠『菩薩戒本宗要私』身延山大学附属図書館所蔵 太賢『菩薩戒本宗

要』(『身延山資料叢書』第八卷)(身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年三月)

《学会発表》

(单独)「起顕竟の法門——囑累品の位置づけ——」(日本印度学仏教学会第七一回学術大会、創価大学、二〇二〇年七月四日)

《調査・出張》

(国内)「瑞光寺資料調査」(京都深草瑞光寺、二〇二〇年三月一五～一七日)

○仏教芸術専攻

▽望月真澄 教授

《著書》

(单著)「関西の法華霊場と法華信仰」(身延山大学仏教学部・持田貫宣・金炳坤編『仏教芸術が創る世界(身延山大学教養選書Ⅳ)』

身延山大学・山喜房佛書林、二〇二〇年三月)

(单著)「日蓮宗の教義と伽藍配置」(妙成寺文化財調査委員会・北國総合研究所編『妙成寺文化財総合調査報告書』日蓮宗本山妙成



寺、二〇二〇年五月)

《學術論文》

- (単著)「近世日蓮宗寺院における伽藍配置の特徴」(『宗教研究』第九三卷別冊、日本宗教学会、二〇二〇年三月)  
(単著)「信仰の町にとつての観光―身延山における観光と参拝について考える―(『やまなし学シリーズ』⑬)」「『やまなし学研究2015―山梨県の風土と民俗／『観光立県』の行方2015―』の記録」(『山梨学院生涯学習センター研究報告』第三四輯、山梨学院生涯学習センター、二〇二〇年三月)

《その他》

- (連載)「法華遺産」(『正法』第五〇八回、一五九―一六三号、日蓮宗新聞社、二〇一九年一〇月―二〇二〇年九月)  
(単著)「祖師棲神の霊場「身延山」と降誕八〇〇年」(『正法』一六二号、日蓮宗新聞社、二〇二〇年七月)  
(連載)「仏教仏事のこと」(『日蓮宗新聞』②③、日蓮宗新聞社、二〇一九年一〇月一日号―二〇二〇年九月一日号)

《学芸発表》

(単独)「日蓮宗寺院伽藍配置の特徴―滝谷妙成寺を中心に―」(日本宗教学会第七九回学術大会、駒沢大学、二〇二〇年九月一九日)

《シンポジウム・講演等》

- (単独)「日蓮宗寺院の文化財」(身延山大学身延公開講座、身延山久遠寺報恩閣、二〇一九年一〇月一四日)  
(単独)「身延山という霊場」(静岡県富士宮市法華寺お会式講話、二〇一九年十一月一日)  
(単独)「日蓮宗の法縁と日脱上人」(脱師法縁大会、身延山大乗坊、二〇一九年十一月二八日)  
(単独)「日像上人の信仰とその足跡」(日蓮宗北陸教区教学研修会、福井県小浜市サンホテルやまね、二〇一九年十二月六日)  
(単独)「法華霊場の成立過程」(勸学院講座、日蓮宗事務院、二〇一九年二月九日)  
(単独)「身延山の歴史と文化」(山梨県身延町身延中学校講座、二〇二〇年二月六日)  
(単独)「身延山参詣道を歩く―甲斐と駿河を結ぶ道―」(友愛文化クラブ、静岡市清水区由比生涯学習交流館、二〇二〇年六月二二日)  
(単独)「身延山と身延道」(友愛文化クラブ、静岡県清水区由比生涯学習交流館、二〇二〇年九月四日)

《調査・出張》

- (国内) 岡山県立博物館企画展オーブニングセレモニー参加及び資料調査(岡山市盛隆寺、瀬戸内市本蓮寺、岡山県、二〇一九年一〇月一日～一二日)
- (国内) 滝谷妙成寺資料調査(石川県羽咋市、二〇一九年一〇月二三日～二三日、二〇二〇年一月八日)
- (国内) 京都市妙覚寺、同妙顕寺資料調査(京都府、二〇二〇年二月一日)
- (国内) 福井県内日蓮宗・法華宗寺院資料調査(福井県、二〇二〇年三月一日～二日)
- (国内) 滝谷妙成寺文化財報告書編集会議(石川県金沢市北國新聞社、二〇二〇年三月一六～一七日、四月四日～五日)
- (国内) 身延山史編集会議(身延山久遠寺新書院、二〇二〇年三月三十一日、四月三〇日)
- (国内) 新潟県佐渡方面寺院資料調査(新潟県、二〇二〇年八月一八日～二〇日)
- (国内) 山梨県立博物館・新潟県立歴史博物館企画展打ち合わせ(身延山久遠寺新書院、二〇二〇年八月六日)
- (国内) 山梨県立博物館・新潟県立歴史博物館企画展打ち合わせ(日蓮宗静岡岡県中部宗務所、二〇二〇年八月二六日)
- (国内) 日蓮宗富山県内寺院の宗宝調査(富山妙伝寺、高岡大法寺、富山県、二〇二〇年九月七日～九日)
- (国内) 新潟県長岡真浄寺、村田妙法寺、寺泊法福寺他寺院資料調査(新潟県、二〇二〇年九月二四日～二六日)

《監修》

日蓮聖人御降誕八〇〇年・佐渡御入国七五〇年、山梨県立博物館・新潟県立歴史博物館合同企画展の企画・立案、二〇二〇年

▽柳本伊左雄 特任教授

特になし

▽岡田文弘 特任講師

《學術論文》

(単著)「日蓮聖人の上行自覚」〔現代宗教研究〕第五四号、日蓮宗現代宗教研究所、二〇二〇年三月)

《その他》

(单著)「物語の中の仏教、仏教の中の物語」(『身延論叢』第二五号、身延山大学仏教学会、二〇二〇年三月)

《学会発表》

(单独)「日蓮と説話 僧祥『法華伝記』との比較」(日本印度学仏教学会第七一回学術大会、創価大学、二〇二〇年七月五日)

《シンポジウム・講演等》

(单独)「いま、『法華経』を読みなおす」(令和二年度オンライン行学道場、全国日蓮宗青年会、二〇二〇年八月二八日)

▽ジル・エマ・ストロースマン 特任講師

特になし

○福祉学専攻

▽伊東久実 教授

《学術論文等》

(单著)「学生の子育て支援活動から考察する「行学二道」の現代的意義」(『日本仏教社会福祉学会年報』第五〇号、日本仏教社会

福祉学会、二〇二〇年三月)

《シンポジウム・講演等》

(单独)「保育の社会化に向けてー保育の営みをいかに社会に発信していくか」(峡南地区保育士会保育内容研究会、定林寺立正保育

園、二〇一九年一月二二日、二九日)

(单独)「保育に生かせる手遊び・手作りおもちゃ」(峡南地区保育士研修会、市川三郷町立六郷町民会館、二〇二〇年一月一八日)

《収録》

(单独)「特番 子ども家庭文庫」(株)日本ネットワークサービス、身延山大学、二〇一九年二月二四日)

《調査・出張》

(国内)「絵本を活用した日本語支援活動(一) 発話調査」(中央市立田富町小学校、二〇二〇年七月一六、一七、二〇、二一、二七、

二八日)

《地域連携活動》

「子育て支援イベントーおにいさん、おねえさんとあそぼう！」(身延児童館、二〇一九年二月一〇日)

▽田沼 朗 特任教授

《著書》

(共編著) 日本子どもを守る会編 『緊急企画コロナ子どもクライシス 特集希望の学校学びのゆくえ (子ども白書二〇二〇)』 かもがわ出版、二〇二〇年八月

《学術論文》

(単著) 「子ども白書を読む、作り手から：『子どもと学校』領域より」(『子どものしあわせ』第八二五号、日本子どもを守る会、二〇一九年一月)

(単著) 「学校部会二〇一九年十一月例会まとめ」(『学校部会だより』第二二号、教育科学研究会学校部会、二〇二〇年三月)

(単著) 「特集に当たって コロナ対応で浮かび上がった学校の存在意義」(日本子どもを守る会編 『緊急企画コロナ子どもクライシス 特集希望の学校学びのゆくえ (子ども白書二〇二〇)』 かもがわ出版、二〇二〇年八月)

《学会発表》

(単独) 「教育科学研究会多摩大会学校づくり分科会のまとめ」(教育科学研究会学校部会二〇一九年十一月例会、明治大学駿河台キャンパス、二〇一九年二月一六日)

(単独) 「特集 希望の学校編集担当者から」(『子ども白書二〇二〇』出版記念合評会、早稲田大学戸山キャンパスをスタジオオンラインでの会議報告、二〇二〇年九月一〇日)

▽田淵和子 特任教授

特になし

▽高橋賢充 特任准教授

《シンポジウム・講演等》

(単独)「災害ソーシャルワーク教育の在り方」(第一五回日本ソーシャルワーク教育学校連盟教育推進大会、山梨県立大学、二〇一九年二月七日)

(単独)「安心・安全な学園生活を目指して」(身延山大学FD・SD研修会、身延山大学、二〇二〇年二月一二日)

(単独)「被災地から見えた防災の地域づくりと感染予防」(富士北麓障害者基幹相談支援センター研修、富士吉田合同庁舎 二階会議室、二〇二〇年八月七日)

《調査》

「ハラスメント問題に対応するソーシャルワーカー養成のための集学的研究」(リモート調査協力、山形大学、二〇二〇年八月二五日)

▽村瀬正光 特任准教授

特になし

▽望月香代 特任講師

特になし

▽佐々木さち子 特任講師

《シンポジウム・講演等》

(単独)「フレイル予防で健康的な日常生活」(学びの庵、甲府市総合市民会館会議室、二〇一九年一〇月二二日)

▽富山美由紀 特任講師

特になし

▽中野宏子 特任講師

特になし

▽手塚知子 特任講師

《著書》

(共著) 障害児の教授学研究会編『アクティブ・ラーニング時代の実践をひらく「障害児の教授学」』福村出版、二〇一九年一〇月

▽建守善之 特任講師

《著書》

(単著)「わかる・みえる介護保険」(株)スマイル小平、二〇二〇年九月

《シンポジウム・講演等》

(単独)「介護福祉学」(介護教員講習会、神奈川県横浜市、岩井会議室、二〇二〇年七月四日)

(単独)「教育学」(介護教員講習会、神奈川県横浜市、岩井会議室、二〇二〇年八月二二日)

(単独)「心理学」(介護教員講習会、神奈川県横浜市、岩井会議室、二〇二〇年九月二六日)

○令和元年度卒業論文論題及び指導教員(二〇一九年二月一日)

▽仏教学科(計一五名)

井田法隆 大黒天信仰の成立と展開

寺島鳳宗 不受不施派の歴史

市川 篤 日蓮聖人における病のとらえ方

望月真澄

望月真澄

金 炳坤

川岸鳳秦 日蓮聖人の諸宗批判―その経緯と特徴―

木村真理 女人の法華信仰

關 龍英 日蓮聖人遺文からみる日蓮聖人の檀越教化

中山海昌 ビハーラに対する一考察

東 泰成 日蓮聖人遺文に引用される仏教説話に関する研究

福原賢星 怪異とは何か―『今昔物語集』巻第二十七の分析―

松永泰潤 Engaged Buddhism に関する一考察

水谷寛應 近代日本の日蓮主義について

山口真経 葬儀の歴史と現状―実践的考察も含めて―

阿部是隆 『法華経』における菩薩の役割

佐藤勇光 日蓮聖人の撰折観

小野智央 日像曼荼羅本尊の特徴

▽福祉学科（計六名）

石水 匠 身延町の老人クラブの現状と課題について

岡田 嵩 高齢者福祉の課題―住まいと経済について―

齊藤さくら 障がいをもつ人のきょうだいの各ライフステージにおける悩みと求める支援

―きょうだいに目を向ける専門職を目指して―

松島梨都 地域子育て支援施設における支援環境の現状と工夫―山梨県内3施設を中心に―

山藤緋莉 寺院の今日的役割についての一考察―寺カフェを中心に―

池原里穂 日本とフィンランドの就学前教育・保育の違いについて―子ども一人ひとりを尊重するために―

間宮啓壬

望月真澄

木村中一

池上要靖

木村中一

間宮啓壬

池上要靖

池上要靖

間宮啓壬

金 炳坤

木村中一

望月真澄

高橋賢充

田沼 朗

高橋賢充

伊東久実

伊東久実

高橋賢充

○令和元年度卒業生各賞受賞者（二〇二〇年三月一三日）

法主賞（第一九号）

佐藤勇光

総裁賞（第二〇号）

池原里穂

理事長賞（第一二二号）

中山海昌

学長賞（第一九号）

市川 篤

学長奨励賞（第四号）

山口真経

学長特別賞（第三七号）

小野智央

学長特別賞（第三八号）

阿部是隆

日本ソーシャルワーク教育学校連盟表彰

齊藤さくら

全国保育士養成協議会会長表彰

池原里穂

○令和二年度学部紀要編集委員会

伊東久実、高橋賢充（以上、編集委員）、金 炳坤、ジル・エマ・ストロースマン（以上、編集協力）